

# 平成30年度 週休2日制に関する取り組み【四国地方整備局】

(週休2日・現場閉所の試行工事の運用について)

## 平成30年度

平成30年4月1日以降入札手続き(公告)開始工事

### 定義

### 週休2日・現場閉所工事の試行

#### □ 週休2日の実施とは・・・

対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

#### ○ 発注者指定方式

発注者が、週休2日(4週8休以上)に取り組むことを指定する方式

#### ○ 受注者希望方式

受注者が、工事着手前に、発注者に対して週休2日(4週8休以上)に取り組む旨を協議した上で取り組む方式

#### □ 発注・実施目標

本官工事は、発注者指定方式、分任官工事は、受注者希望方式を基本として実施する。

→ 「○週休2日制に取り組む際の必要経費の計上(補正係数)」を参照

平成30年度は、「発注者指定方式」、「受注者希望方式」あわせて、**実施30%を目標とする。**

## 週休2日制に関する取り組み【四国地方整備局】

### 週休2日「重点モデル工事」(平成30年度～)

週休2日対象工事から、クリティカルパスのある工事について、発注者が積極的に支援することで週休2日(4週8休以上)の達成を目指すことができる工事を「重点モデル工事」として選定する。

選定した工事は、「重点モデル工事プロジェクト」\*を設置し、週休2日実施にあたって支障となる案件(各種協議事項、設計変更対応、地元調整)の解消に向けて、受発注者が積極的に週休2日達成に取り組む試行工事。

また、工事完成時には、アンケート調査及びヒアリングを実施し、支障となる要因等を把握し、次回以降への取組に反映する。

### ※「重点モデル工事プロジェクト」

週休2日の取組について、「設計施工調整会議」の活用もしくは同メンバーにより、週休2日達成に向けて、積極的に取り組むための体制。

#### 「重点モデル工事プロジェクト」(案)

##### 【構成と出席者】

###### ■ 工事受注者

現場代理人、監理技術者、担当技術者 等

###### ■ 発注者

技術副所長、工事発注担当課長、主任監督員 等

##### 【開催頻度】

■ 月1回開催を目安に、調整事項に合わせ実施

##### 【取組内容】

###### ■ 取組計画の確認

・現場閉所日の計画及び実施状況の確認

###### ■ 工程進捗に関する情報共有

・工程進捗に関わる課題調整  
・クリティカルパス等の確認

###### ■ 課題解決に向けた対策検討

・課題事項に関する実施対応者、実施時期などを明記し、進捗状況を確認

# 週休2日制に関する取り組み【四国地方整備局】

## その他定義

### ○ 対象工事について

平成30年4月1日以降に入札手続を開始する工事。 但し、以下の工事は除く

- 「契約工期が6ヶ月(180日)未満の工事」
- 「全体工期のうち現場施工が3ヶ月(約90日)未満の工事(工場製作期間等が工期の大半を占める工事)」
- 「路面維持工事など指定工種を含む維持工事」
- 「社会的要請等により早期の工事完成が必要な工事」
- 「工事発注後に施工時間や施工方法への新たな制約が予想される工事」
- 「緊急対応作業が含まれる標準的な作業でない工事」
- 「平成30年3月31日までに入札手続を行った工事」

### ○ 対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、**受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。**

### ○ 現場閉所

現場事務所での事務作業(内業)を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

(現場作業としてあつかわない例)

巡回パトロール、保守点検、見学会、地元協議対応、災害対応など監督職員が認めたもの 等々

### ○ 4週8休以上

対象期間内の現場閉所日数の割合(以下、「現場閉所率※」という)が、28.5%(8日/28日)以上の水準に達する状態をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

※ 現場閉所率(%) = 現場閉所日 / 対象期間

# 週休2日制に関する取り組み【四国地方整備局】

## 平成30年度

平成30年4月1日以降入札手続き(公告)開始工事

### 積算

### 週休2日・現場閉所工事の試行

#### ○週休2日制に取り組む際の必要経費の計上（補正係数）

週休2日(4週8休以上)の確保に取り組む工事において、対象期間中の現場の閉所状況に応じて、以下のとおり、それぞれの経費に補正係数を乗じるものとする。

項目	4週6休以上 4週7休未満	4週7休以上 4週8休未満	4週8休以上
労務費	1.01	1.03	1.05
機械経費(賃料)	1.01	1.03	1.04
共通仮設費率	1.01	1.03	1.04
現場管理費率	1.02	1.04	1.05

- ①. **4週8休以上**：  
現場閉所率が、28.5% (8日/28日)以上
- ②. **4週7休以上4週8休未満**：  
現場閉所率が、25.0% (7日/28日)以上、28.5%未満
- ③. **4週6休以上4週7休未満**：  
現場閉所率が、21.4% (6日/28日)以上、25.0%未満

※ 赤字記載項目は、平成30年度新規追加、設定項目

#### ○補正方法

■発注者指定方式：当初から、①. **4週8休以上**達成を前提とした補正とする。



①. **4週8休以上に満たない場合は補正しない。**

■受注者希望方式：当初計上しない。



①. **4週8休以上**、②. **4週7休以上4週8休未満**、③. **4週6休以上4週7休未満**、  
達成状況確認後に、補正し精算変更する。

# 週休2日制に関する取り組み【四国地方整備局】

平成30年度 平成30年4月1日以降入札手続き(公告)開始工事

## ○入札公告及び入札説明書(記載例)

### 【発注者指定方式】

#### ■(通常の場合)

「○. 工事概要」に以下を記載する

本工事は、発注者が週休2日(4週8休以上)に取り組むことを指定する週休2日試行工事(発注者指定方式)である。

#### ■(重点モデル工事の場合)

「○. 工事概要」に以下を記載する

本工事は、発注者が週休2日(4週8休以上)に取り組むことを指定する週休2日試行工事(発注者指定方式)である。なお、発注者が積極的に支援を行い、週休2日(4週8休以上)の達成を目指す「重点モデル工事」である。

### 【受注者希望方式】

#### ■(通常及び重点モデル工事の場合)

「○. 工事概要」に以下を記載する

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日(4週8休以上)に取り組む旨を協議した上で、工事を実施する週休2日試行工事(受注者希望方式)である。

なお、発注者が積極的に支援を行い、週休2日(4週8休以上)の達成を目指す「重点モデル工事」の指定を行う場合がある。

# 週休2日制に関する取り組み【四国地方整備局】

## 適切な工期の確保の取り組み【条件明示の徹底】

○特記仕様書 記載例⑦ 平成30年4月1日以降入札手続き(公告)開始工事

### 【週休2日(4週8休以上)に関する土木工事における適切な工期設定の考え方】

《＝参考＝》特記仕様書の記載例(案)

#### 第〇条 工期

工期：平成□年□月□日から平成□年□月□日まで

工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。

※供用時期等が決まっていることにより、工事の完了時期が決まっている場合は、当該条件を記載すること。

【例】当該箇所は、平成▲年▲月▲日に供用を予定している箇所である。

- ①準備期間 ●●日間(工種区分による日数を記載)
- ②後片付け期間 20日間
- ③雨休率 ●.● (実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数)
- ④地元調整等による工事不可期間  
平成●年●月●日から平成●年●月●日 ●日間
- ⑤...

※ 上記の他、特別に見込んでいる日数や特別に工期に影響のある事項があれば記載する。

※ 見積参考資料に、パーティー数を記載する。

週休2日の工事を推進するために、発注者側の工期設定に関する条件について、積極的に示すことにより、受注業者が当該工事において週休2日を取り組む判断がしやすくするために、条件明示について積極的に行う。

# 適切な工期の確保の取り組み【四国地方整備局】

## 見積参考資料の記載例

**見 積 参 考 資 料**

工事名 平成30年度 ○○地区●●工事

当該工事の工事工程表を提示する。また、施工パーティー数は●組である。

「見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。

工事の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局  
●●事務所 ○○課

## 工事工程表の記載例(道路工事の場合)

工種	単位	数量	平成30年度									平成31年度			備考	
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
準備	式	1	■	■												30日
道路土工	m3	10,000		■	■	■	■	■								路体盛土工 路床盛土工
舗装工	m2	5,000		■		■			■	■	■					路盤工 舗装工
付属施設工	式	1								■	■	■				
区画線工	式	1										■	■	■		
後片付け	式	1												■		20日
制 約 条 件	関係機関協議		■													●●県
	住民合意															
	用地確保		■													
	法定手続き															
	支障物件の移設			■	■	■	■									・下水道、●●電力
	夏季休暇、年末年始															8月中旬、12月下旬～1月上旬
	出水期間															
	路上工事制約															3月

(凡例) ■ 工種進捗工程 ■ 制約条件進捗工程 ■ 工事制約期間 ■ 休日(対象外)



## 確認

### ○週休2日実施の確認例(発注者による確認)

工期内において、現場閉所日数を確認できる資料(エクセル表等)で確認する。受注業者の既存資料等(工程表や休日等の記録資料等)より、現場閉所日の実績日数を確認し、対象期間より現場閉所率を算出する。

#### 【現場閉所】

現場事務所での事務作業(内業)を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。  
(雨天や天候による閉所も含まれる。)

#### 〔参考例〕

工期:273日(夏季休暇3日、年末年始6日含む)

- 工期内の対象期間における、現場閉所日数を確認。  
対象期間:工期【273日】-工事着手前の日数【10日】-夏季休暇【3日】-年末年始等【6日】=254日

算定例1:現場閉所日【80日】の場合=80日/254日  
31.4% ≥ 28.5% ∴ 4週8休以上

算定例2:現場閉所日【69日】の場合=69日/254日  
27.1% ≤ 28.5% ≤ 25.0% ∴ 4週7休

算定例3:現場閉所日【54日】の場合=54日/273日  
19.7% < 21.4% ∴ 4週6休未滿(補正なし)

※現場閉所率は小数第1位までとし、小数第2位を四捨五入とする。

### 確認イメージ例(一部)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4	5	6	7
		工事着手日				現場閉所
8	9	10	11	12	13	14
現場閉所	現場閉所					現場閉所
15	16	17	18	19	20	21
<del>現場閉所</del>	変更 →	現場閉所日	現場閉所日	← 変更		<del>現場閉所</del>
22	23	24	25	26	27	28
現場閉所	現場閉所					現場閉所
29	30	31				
現場閉所		工事完了日				

※ 黒字は計画、赤字は変更箇所

# 週休2日制に関する取り組み【四国地方整備局】

## 成績(土木工事成績評定)

平成30年4月1日以降入札手続き(公告)開始工事

「工事における週休2日の取得に要する費用の計上について(試行)」の運用について(平成30年3月20日付国地契第70号、国技建管第35号)に基づくものとする。

### 発注者指定方式

発注者指定方式においては、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たないものは、補正分を減額変更(当初から計上していた場合)するとともに、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定実施要領の別記様式第1における考査項目「7. 法令順守等」の「8. その他」の項目において、点数を減ずる措置を行うものとする。

### 受注者希望方式

受注者希望方式においては、現場閉所の状況を確認後、4週8休に満たない場合においても、減点評価は行わない。